

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成30年10月4日(2018.10.4)

【公開番号】特開2017-37014(P2017-37014A)

【公開日】平成29年2月16日(2017.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2017-007

【出願番号】特願2015-158726(P2015-158726)

【国際特許分類】

G 0 1 N 33/483 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/54 (2006.01)

C 1 2 Q 1/00 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

C 1 2 N 9/04 (2006.01)

C 1 2 N 9/16 (2006.01)

C 1 2 N 9/88 (2006.01)

C 1 2 N 11/14 (2006.01)

G 0 1 N 27/327 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/483 Z N A F

C 0 7 K 19/00

C 1 2 Q 1/54

C 1 2 Q 1/00 C

C 0 7 K 7/06

C 1 2 N 9/04 D

C 1 2 N 9/16

C 1 2 N 9/88

C 1 2 N 11/14

G 0 1 N 27/30 3 5 3 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月3日(2018.8.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

以下の (a) 又は (b) のアミノ酸配列を有するペプチドからなり、かつ金属への結合能を有する、結合剤：

(a) 以下の (1) ~ (17) の何れかに記載のアミノ酸配列；

(1) K、K、R、E、V 及び R からなるアミノ酸配列、

(2) V、Y、N、K、R 及び K からなるアミノ酸配列、

(3) S、R、A、A、K 及び Y からなるアミノ酸配列、

(4) Q、K、R、K、V 及び V からなるアミノ酸配列、

(5) K、G、R、G、R 及び V からなるアミノ酸配列、

(6) K、R、K、A、A 及び M からなるアミノ酸配列、

(7) K、T、R、G、V 及び K からなるアミノ酸配列、

- ( 8 ) K、Q、K、K、T 及び T からなるアミノ酸配列、
- ( 9 ) R、T、R、N、R 及び S からなるアミノ酸配列、
- ( 10 ) T、Q、K、G、R 及び K からなるアミノ酸配列、
- ( 11 ) K、G、A、K、K 及び V からなるアミノ酸配列、
- ( 12 ) K、K、T、S、K 及び G からなるアミノ酸配列、
- ( 13 ) K、T、R、M、R 及び G からなるアミノ酸配列、
- ( 14 ) L、K、D、K、K 及び K からなるアミノ酸配列、
- ( 15 ) R、G、Y、K、K 及び G からなるアミノ酸配列、
- ( 16 ) R、K、G、N、K 及び A からなるアミノ酸配列、
- ( 17 ) R、V、G、R、K 及び G からなるアミノ酸配列

( b ) ( a ) に記載のアミノ酸配列において 1 又は数個のアミノ酸が欠失、置換もしくは付加されたアミノ酸配列。

【請求項 2】

以下の ( c )、( d ) 又は ( e ) のアミノ酸配列を有するペプチドからなり、かつ金属への結合能を有する、請求項 1 に記載の結合剤：

- ( c ) 配列番号 1 ～ 17 の何れかに記載のアミノ酸配列；
- ( d ) ( c ) に記載のアミノ酸配列の逆配列；
- ( e ) ( c ) 又は ( d ) に記載のアミノ酸配列において 1 又は数個のアミノ酸が欠失、置換もしくは付加されたアミノ酸配列。

【請求項 3】

K、R、G、V、T、A、Q、S、Y、N、M、L、D 又は E から選ばれるアミノ酸からなる、請求項 1 又は 2 に記載の結合剤。

【請求項 4】

蛋白質に請求項 1 ～ 3 の何れか 1 項に記載の結合剤を連結した、金属結合性蛋白質。

【請求項 5】

蛋白質の N 末端及び / 又は C 末端に結合剤を連結した、請求項 4 記載の金属結合性蛋白質。

【請求項 6】

蛋白質が抗体又は酵素である、請求項 4 又は 5 記載の金属結合性蛋白質。

【請求項 7】

蛋白質が酸化還元酵素である、請求項 4 ～ 6 の何れか 1 項に記載の金属結合性蛋白質。

【請求項 8】

請求項 4 ～ 7 の何れか 1 項に記載の金属結合性蛋白質を含む、測定試薬組成物。

【請求項 9】

請求項 4 ～ 7 の何れか 1 項に記載の金属結合性蛋白質を使用する、試料中の測定対象物の測定方法。

【請求項 10】

測定対象物がグルコースである、請求項 9 記載の測定方法。